

NPO 緑の会

特定非営利
活動法人

NPO 緑の会

取手市
小文間
3838-1
TEL 0297-
72-8791



EM による取手市全域の生ごみ堆肥化を目指したい



恒川敏江理事長

より受託以来 20 年が経過しました。当初よりご参加の皆様の高齢化や生活の変化などで、生ごみ量が減りつつあります。テスト的に新しい地区での生ごみ回収を実施しつつ、最終的な回収方法を見つけ出し、いつかは取手市全域の生ごみ堆



取手市からの感謝状

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、明るい希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

肥化を目指していききたいと強く願っております。

コロナからの再始動として始まった昨年も新型コロナウイルスは収束せず、長引いた緊急事態宣言の中、オリンピック・パラリンピックも無観客開催が多く、不思議な画面の連続でした。そんな中、米大リーグロサンゼルスエンゼルスで投打に渡り大活躍、最優秀選手賞に輝いた大谷翔平選手の連日ユースが、野球の事を知らない私にも「又打った、又勝った」と大きな元気を運んでくれました。

さて私たちの中心的事業であります「食品リサイクル堆肥化事業」は平成 13 年に取手市

働し順調に進んでおります。「水質浄化事業」は認定 NPO 法人地球環境共生ネットワーク

クからご依頼の日本橋川浄化事業、江戸川区 EM 活性液仕込作業、外濠の飯田橋イタリアンレストラン「カナルカフェ」浄化活動、石岡市から受託の「東の辻池生活排水浄化事業」をはじめ、取手市相野谷川の浄化活動の継続などを昨年に引き続き進めてまいります。

この他、EMファンへの EM 製品の販売やヤーコン茶等の販売にも引き続き頑張っております。

昨年 10 月、取手市政施行 50 周年記念行事で市より感謝状を頂戴しました。20 年に渡る生ごみ堆肥化事業を評価されていることだと思っております。

一日一日感謝を込めて、楽しんで嬉しい日々を皆様と共に丁寧に送りたいと思っております。

本年も変わらない皆様のご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



理事長
恒川 敏江

取手市桜が丘地区での生ごみ回収事業を開始 (生ごみを持参して頂く方法で 9 月 4 日から受付)

桜ヶ丘地区の皆様へ

令和 5 年 8 月 3 日
NPO 緑の会
常総環境センター
取手市環境対策課

生ごみ堆肥化事業に参加しませんか?

「生ごみポイント還元システム」で堆肥や EM 活性液と交換できます!

NPO 緑の会は、「生ごみは燃やせずに資源化したい」とのニーズから平成 13 年度より常総環境センターからの委託事業として生ごみを堆肥化しています。取手市においても、ごみ量の観点からこの事業を推進しております。

「生ごみポイント還元システム」とは
地帯場 (取手市長尾新田 399、裏山内田町) へ生ごみを保存容器に入れて持参して頂き、その都度ポイントカードにポイント押印をします。5 ポイントで生ごみ堆肥 (1袋) 又は EM 活性液 (1本) と交換できるシステムです。

- 申込：電話又はメールにて下記へご連絡ください。(随時受付)
また、産廃集積場でも受付いたします。
- 開始：9 月 4 日より 毎週火曜日及び土曜日 13:00-17:00 です。
- お願い：ビニール類、金属 (スプーン等)、異物など、地帯にならない物は入れないでください。
- 問合せ先：ご不明な点などありましたら下記へご連絡下さい。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【申込及び問合せ先】
NPO 緑の会
〒302-0001 取手市小文間 3838-1
TEL FAX 0297-72-8791
恒川敏江 090-5015-7426
Email npo-mido2@outlook.jp

生ごみ保存容器 (推奨 5L 以上)

EM 活性液 (500cc)
生ごみ堆肥 (500g)



取手市との打ち合わせ

取手市桜が丘団地の自治会館に自治会長の吉田晋二氏を訪問。生ごみ堆肥化事業への参加をお願いしました。当日は取手市環境対策課の宮本氏も同行されました。そして八月二十八日に全戸約千五百世帯に左記チラシを配布して頂きました。今回の企画は各自で生ごみを堆肥場にご持参いただくこととし、九月四日から受け付けることにしました。その後は火曜日と土曜日の週二回の受付で対応しています。

十月八日には取手市のまちづくり振興部環境対策課の石塚課長他と会談。桜が丘を含め取手市内での生ごみリサイクル事業の拡大に関する会談を行いました。十一月十八日にも再会談し、具体的計画を提出予定です。

1000 年後も 2000 年後も緑豊かな美しい地球であってほしい!

堆肥場へ生ごみを持参された方々とポイント制について (令和 3 年の参加者は 15 世帯)



堆肥場へ生ごみを持参して頂いた方に、その都度ポイントカードに 1 ポイントを押印。5 ポイント (5 回持参) で生ごみ堆肥 (小) もしくは EM 活性液 (500ml) と交換するシステムにしています。
 10 月 7 日には、根岸ゆみこ取手市議会議員他 (右下の写真) がご来場され、桜が丘での生ごみ回収事業に関するヒアリングと、堆肥場の見学をされました。



取手市立 取手第 2 中学校に EM 生ごみ堆肥と活性液 (2Q) を提供



取手第 2 中学校「緑のカーテンコンテスト」で大賞受賞

7 月 3 日 (土) に同校の飯塚先生が堆肥場に EM 生ごみ堆肥を受け取りに来られました。7 月 5 日には同校の園芸委員会 (32 名が所属との事) の生徒たちを、飯塚先生と山本先生が指導され、フレコンバックに入った堆肥を小分けにし、ゴーヤに施工しました。
 そして、取手市環境対策課主催の緑のカーテンコンテストに応募。9 月に福社交流センターと藤代庁舎に応募作品を展示し、来場者の投票で順位が決定するコンテストです。令和 2 年は 3 位でしたが、昨年はずいぶん団体の部で大賞 (優勝) を受賞しました。緑の会もその一端を担え、うれしい限りです。

1000 年後も 2000 年後も緑豊かな美しい地球であってほしい!

11 月 6 日 NPO 法人「りょうぜん里山がっこう」の皆さま 16 名が堆肥場を見学 (一昨年に続き 2 度目)



NPO 緑の会とりょうぜん里山がっこうの参加者の皆さま



EM 研修の一環で生ごみ堆肥化の実際を通し、会をより良いものにしたと目的を持って、高野金助代表をはじめ 16 名の皆さまが中型バスでお越しになりました。

7:00 に伊達市を出発。約 5 時間をかけ 11:00 過ぎに堆肥場に到着。すぐに工場内にて生ごみ処理の実際を見学。付随する EM 活性液の製造方法や運営方法等の質疑応答を行いました。午後は場所を「かたらいの郷」に移し、NPO 緑の会からも 18 名が参加。パワーポイントを使ってお互いの活動内容の紹介を行い、親睦を深めました。



15:00 に終了。20:00 前に無事伊達市に到着した旨の連絡がありました。

今年は緑の会で先方訪問を計画する予定です。

コロナ禍の中行った事業や作業、行事やイベント参加等のトピックス (令和 3 年 7 月~12 月まで)

石岡市からの委託事業 東の辻浄化活動 (8 月 8 日、9 月 5 日、10 月 3 日)

今年も EM 活性液を、東の辻へ散布、点滴用のボックスに補充及び家庭配布用への補充を 3 回行いました。佐藤信夫さん (東の辻二部町内会) が中心となって浄化作業やその近隣に花を植え美化に努めていますが、それが認められ当時の小泉進次郎環境大臣より「地域環境美化功労者表彰」を 6 月 23 日に受けられました。



9 月 24 日 シルバーさん達が中心となって 1 年分のもみ殻 (フレコンバック 14 袋) を採取しました



1000 年後も 2000 年後も緑豊かな美しい地球であってほしい!

東京都江戸川区から U-net が受託した EM 活性液の培養を行っています。9 月 15 日に使用現場を視察



緑の会の大野英雄さん



富士公園のタンクで培養した EM 活性液を 20ℓ の容器に移し、10 個を軽トラに積み込む。
今回は仲井堀親水緑道の起点(新中川から取水)に 5 個分の活性液を投入。
仲井堀親水緑道は延長 580 メートルで活性液は起点と中間点に各容器 5 個分を、毎週 1 回投入との事。
同じく小岩・鹿骨・篠崎の親水緑道に各 1 個分の活性液を投入との事でした。
緑の会では、江戸川区にある富士公園に設置しているタンクで、月 2 回活性液の培養を大野英雄会員が行っています。

10 月 1 日～2 日「第 50 回消費生活展」に参加及び 2 日の取手市制 50 周年記念式典で感謝状を受賞

コロナ感染拡大の為、令和 2 年に開催されなかった消費生活展が今年はパネル展示を中心として、福祉交流センターでの室内開催となりました。緑の会は従来通り常総環境センターブースで生ごみ堆肥化事業の PR を行い、生ごみ堆肥(小) 100 袋を来場者に無料配布しました。

又、同様に 1 年延期されていた取手市制 50 周年記念式典が人数を制限して市民会館で開催。緑の会は長年にわたり市に貢献したとして感謝状(1 面の写真)が贈られました。当日は恒川芳克理事が受領しました。



12 月 16 日 13:00～15:00 令和 3 年最初で最後の定例会を開催(於:かたらいの郷)

コロナ禍の為中止していた定例会を、感染防止策をとって昨年初めて開催しました。昨年 7 月からの活動報告を行うと共に、カナルカフェの活性液点滴事業の令和 4 年への延期等の説明がありました。その後役員の皆様が用意されたお菓子とお茶をいただきつつ、参加会員の皆さまの自己紹介を含む懇親会となりました。



編集後記
昨年は、本来なら会員の皆さまが参加する行事や作業がすべて中止となりました。
堆肥の袋詰めや景品の活性液の用意等はすべて役員の方と一部シルバーさんが手伝って作業しました。役員は皆さまが苦労様でした。今年は会員の皆さまが参加できるようなれがうれしいです。コロナ退散をねがいます。
岸本義幸



NPO 緑の会の会員になるには
正会員: 会費 3,000 円/年 活動もできる方(総会での議決権有)
賛助会員: 会費一口 3,000 円以上 会費で協力(総会での議決権はなし)
お問い合わせ先: TEL: 090-9015-7426 (恒川理事長)
Eメール: npo-mido@trust.ocn.ne.jp

1000 年後も 2000 年後も緑豊かな美しい地球であってほしい!